



広島大学

学習開発学入門1

5月16日 第10回 南浦涼介

自己紹介, え, 誰?

南浦 涼介のプロフィール

大学時代

小学校の教師を目指していた

タイで
日本語教師

兵庫県の
中学校で教師
社会科

ガソリンスタン
ドで
フリーター

附属三原小学校
教師

社会科、図工、理科

大学院
日本語教育
社会科教育

滋賀県で
外国人児童生徒
の日本語教師

タイで
日本語教師

西条農業高校で
教師

地理

山口大学で
教師

小学校全般
社会科教育

東京学芸大学で
教師

日本語教育
国語教育

広島大学で
教師

外国人児童生徒教育
教育課程論 教育制度など

自己紹介 え、誰？

南浦涼介（みなみうりゃ）

広島大学で担当している主な授業

- 外国人児童・生徒の教育（1年生）
- 教育課程論（2年生）
- 教育の社会・制度（2年生〈with 米沢T〉）
- 外国人児童生徒の教育課程デザイン特論（院生）

おしごとに行っていること・得意なこと

漫才

外国人児童生徒教育

教師教育

社会参加

教育政策

授業研究

国際理解教育

社会科教育

教育評価

日本語教育 多文化共生

教材開発

カリキュラム論

異文化間教育

わかる

面白い

A

○

○

B

○

×

C

×

○

D

×

×

多くの場合Aがいいと言われるけれど本当？
実は、Cだね？！

いい授業って何だ？ みんなが学べる授業って何だ？

ニしゃしんをつかって、せつめいしよう

読む

じゅんじよをあらわす言葉^ばをたしかめながら、読みましょう。

さけが大きくなるまで

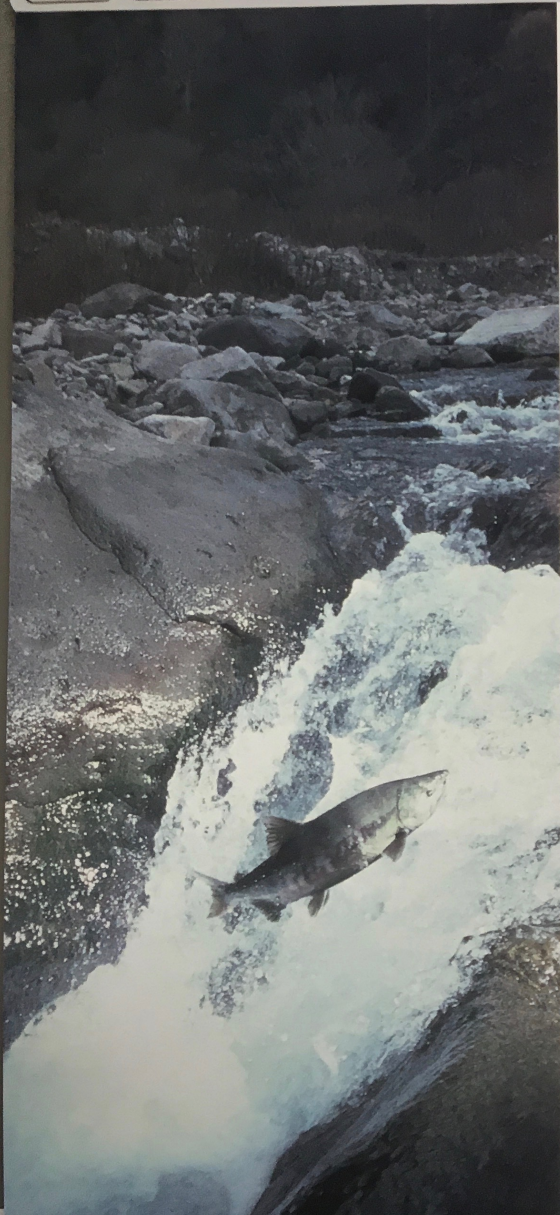
さけは、北の海にすむ大きな魚です。

あの七十センチメートルほどもある魚は、どこで生まれ、どのようにして大きくなったのでしょうか。



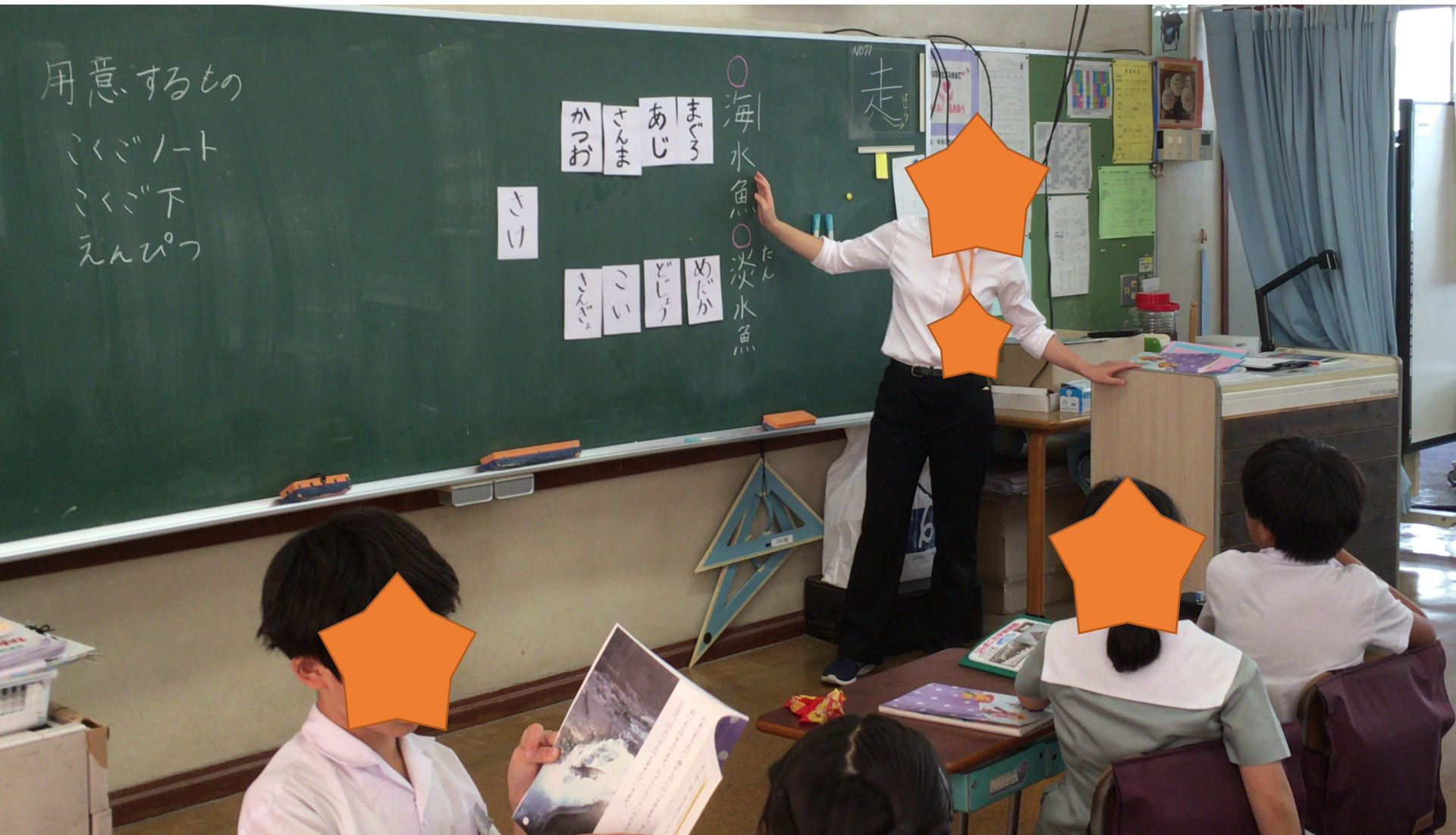
5

秋になるころから、大人のさけは、たくさんあつまって、たまごをうみに、海から川へやってきます。そして、いきおいよく川を上ります。三メートルぐらいのたきでものりこえて、川上へ川上へとすすんでいきます。



南浦のテーマ①

いい授業って何だ？ みんなが学べる授業って何だ？



南浦のテーマ①

いい授業って何だ？

みんなが学べる授業って何だ？



「わからないけれど、おもしろい」ってどういう授業？

中学校3年生と小学校6年生の「小中交流授業」

テーマ「桃太郎は懲役何年か？」

小6が「桃太郎を追及する検事」

中3が「桃太郎を弁護する弁護士」



桃太郎が鬼が島で行った行為を、
現代の刑法をもとに吟味して刑を「検事」が請求。

「弁護士」が弁護。

最終的に妥当な量刑を裁判官役が決定する！

「わからないけれど、おもしろい」ってどういう授業？

小学校5年生の国語

劇団四季の劇「エルコスの祈り」を自分たちでもやってみる

「ユートピア学園」に通う子どもたちのところにやってきた
スイッチを押すと2つの役に切り替わるロボット「エルコス」

- ・A「あらゆる制約や規範を守るエルコス」
- ・B「あらゆる制約や規範を気にしないエルコス」

このエルコスの間で翻弄される子どもたち

最後に子どもたちの1人「ジョン」が言うセリフ

「僕たちはエルコスに教えてもらった…『本当の自由』を」

そこからのジョンの独白が空欄になっており，自分たちで作って
いかななくてはならない。劇団四季の真似をしてもつまらない。
私たちにとって「本当の自由」とは？

わかる

面白い

A

○

わかる授業を追求するあまり
定義，説明，情報提供が多くなると
面白さは半減することは多い

○

B

○

頑張ったからご褒美に面白い話を…
的な報酬的面白さは，実はつまらない
ホントは子どもも大人もその浅はかさを見破っている

×

C

×

○

D

×

そうした発想はやがて，「息の長い学び
への目線」を削ぐし，テストが終わった
ら学ばない。
面白がれない状況を作り出す。

×

「わからないけれど、おもしろい」を生み出すには？

①現実世界でも「論争上」にある（なりそう）問題

- ・「大人」は何歳からなのか？「大人の高校生」に「保護者」は必要なのか？
- ・高校の国語に「文学」は必修であるべきか、選択科目でいいか？
- ・「天皇誕生日」はいつまで続けるべきか？

②その世界のプロフェッショナルが現実世界で考えていること

- ・学校の外周のおよその長さを測りたいが、それだけの巻き尺がない。学年全員の「歩幅」をつかうとどのように計測することができるか？
- ・江戸城の天守閣は絵図でしか残っていないが、この高さは実際どのくらいだったのか？
- ・小学校の2時間目と3時間目の間の休憩時間は何て呼ぶべきか？

南浦のテーマ② 外国につながる子とその教育

クラスに外国から子どもたちが来たとき、教師としてどう授業をする？
(先生も周囲の多くも、その子たちの母語を使えません！)

- ①これが実現できたらいいな、と思うのはどれ？
- ②現実的にはこれになるのだろうか、と思うのはどれ？
- ③なぜ②になってしまうのか、さらにそれぞれにどのような「難題」がありそうか？

あ

体育や図画工作などの授業ではない座学系の授業は積極的に別教室に取り出し、日本語を学ぶ授業でサポートする

日本語ができるようになったらクラスの授業に参加する

い

資料をわかりやすい日本語に書き換える
先生がわかりやすい日本語で話す

授業の中で視覚的・体験的・操作的なものをつかって言葉ばかりに頼らない授業をする

う

母語の使用OK
翻訳アプリを促す
グループにその母語が使える子ども同士を入れ積極的に母語で議論を

発表はできるだけ日本語。わからないことは母語でもOK。
周囲が翻訳機などで日本語に

え

国語の教材にはもっと移民の子どもの成功物語を
登場人物の挿絵の髪の色や民族的背景も多彩に

歴史も日本中心ではなく海外との関係性中心に
世界の音楽を学ぶ内容の充実

問題を個人化・医療化する

問題を社会化する

「できない子・困った子」

「できない子・困った子」が問題を解決する

「可能性を持った子・力があるけど出せない」

可能性や力を出せるように周囲が変わる

というわけで、南浦のやっていること①

実は僕らの教育学って「多数者の教育学」になってない？
「多様性の教育学」をつくりたいね

「個に応じる」とは「①個別に対応する」なのか「②個性を生かす」なのか？
「いい授業」とは「①個々がわかる」ことなのか「②みんなでおもしろい」なのか？

	個別化（個別に対応する） の根底にある教育の発想	個性化（個性を生かす） の根底にある教育の発想
目的	収斂的アプローチ 個々の差を埋めて1つの目的に向かう 格差の解消	拡散的アプローチ 学び手の個性をのばす方に向かう 差異の承認
個人差の捉え方	学習にかかる時間の差（量的差異）	関心や学習スタイルの差（質的差異）
対応の視点	方法への着目，達成目標への着目	内容（テーマ）や目的方向性への着目
カリキュラムの 捉え方	知能や学業成績を一元的尺度で捉える 量的 直線的	多重知能や個性などの多元的尺度 質的 多面的
発展学習の発想	早修（acceleration），より早く進む	拡充（enrichment），より広く深く学ぶ

学習を進めていく上での個性を認め，個性が重なりながら差を補完し合い，
全体で伸びていく学習・教材・学校・評価・地域をつくっていくこと

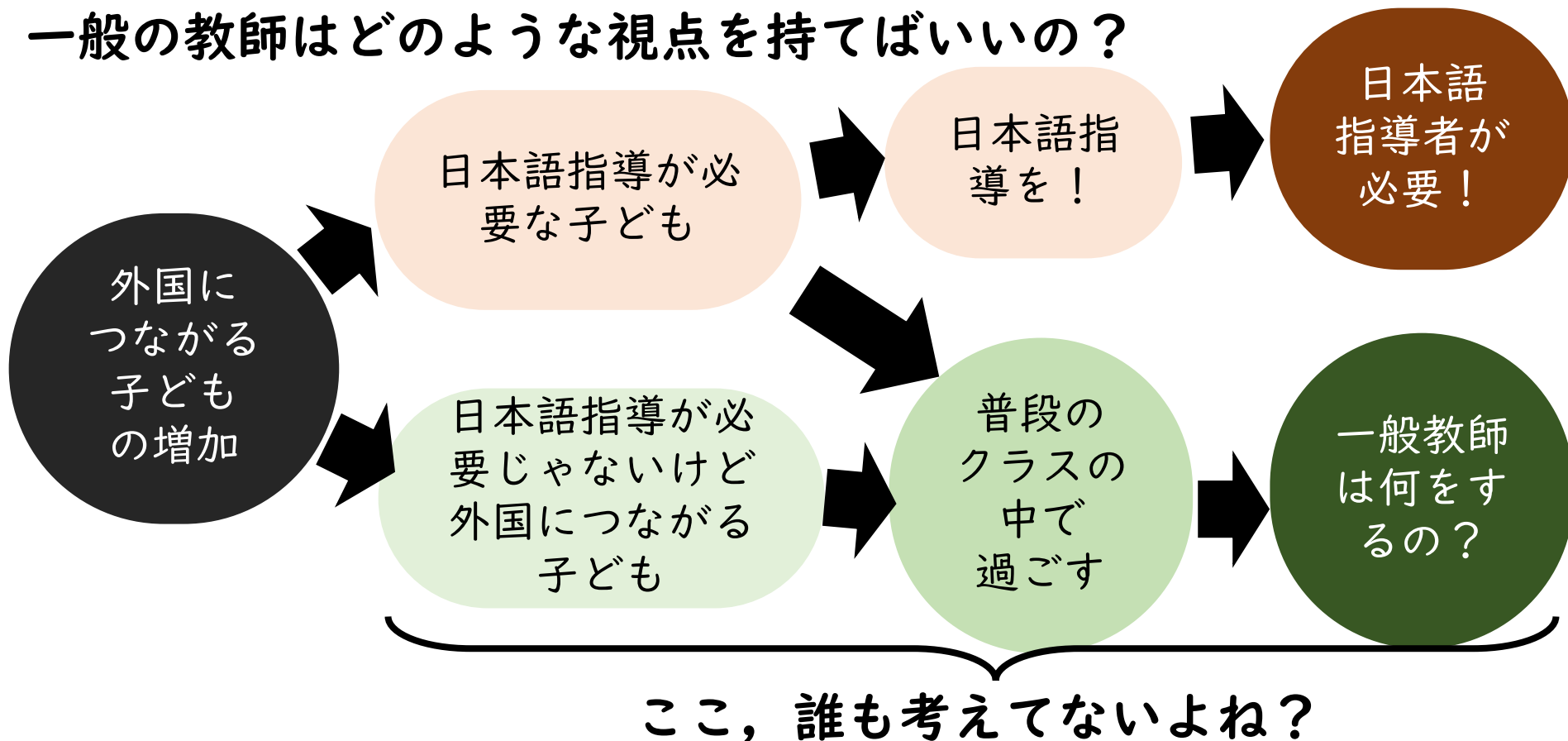
というわけで、南浦のやっていること②

外国につながる子どもたち〈もいる〉教室や学校を動かせる
教師とはどのような資質を持つ教師か？

日本語指導者，支援者も大切。

でもお任せ状態だとどううまくいかない。

一般の教師はどのような視点を持てばいいの？



というわけで、南浦のやっていること③

「教育の研究」を一部の専門家の特権にしないこと
〈客観・一般・自然科学〉は研究の前提ではない

これを実現するためには、「定義→具体化」「理論→実践」だけではうまくいかない。

光が当たっているスーパーティーチャーばかりみてもだめ。
キラキラした発信をしている学校ばかりみてもだめ。

地道に学校のすみっこで実践をしている人，学校にも光を当てていくことも「研究」とする必要があるよね。

客観的理論，数値化や指標化して語る研究だけではうまくいかない。主観性や個別性・物語を「研究」とすることが重要

なんなら論文だけが研究成果の語りではないかもしれないよ。

ということ考えたとき、あらためて、卒論でみなさんに期待していること

学問・テーマでつながるよりも、姿勢・価値でつながる

「おもしろい！（驚愕）」と「なるほど！（共感）」